

## 雌雄混合三倍体ヤマメ 2<sup>+</sup>年魚以降の成長と生残

工藤真弘・小野 淳・米沢純爾・長谷川敦子・斉藤修二・吉野典子\*・渡辺裕之\*

通常の二倍体ヤマメは雌雄とも満2年で成熟し、産卵後はほとんどへい死する。三倍体ヤマメも雄型は通常のヤマメと同様に満2年でへい死するが、雌型は成熟せずに生き残る<sup>1)</sup>。この生残した雌型が成長を続けて大型化することが三倍体ヤマメの特徴である。しかし、その成長限界や2<sup>+</sup>年魚以降の生残状況は明らかになっていない。そこで雌雄混合三倍体ヤマメ雌型魚の2<sup>+</sup>年魚以降の成長と生残を明らかにして、適切な出荷時期などについて検討したので報告する。

### 材料と方法

**供試魚** 東京都水産試験場奥多摩分場産ヤマメ親魚より1985年10月、1987年10月および1988年10月に高温処理で作出した雌雄混合三倍体のうち、2年目の産卵期を過ぎて、雄型のへい死終了後に生き残った雌型三倍体を供試魚として用いた。

**飼育方法** 飼育には奥多摩分場入川試験池の18×2×1mのコンクリート水槽を3~4区に仕切って用い、日曜日を除いて毎日、市販の親魚用配合飼料を飽食量給餌し、作出年級群毎に随時取り揚げを行って体長、体重を測定した。

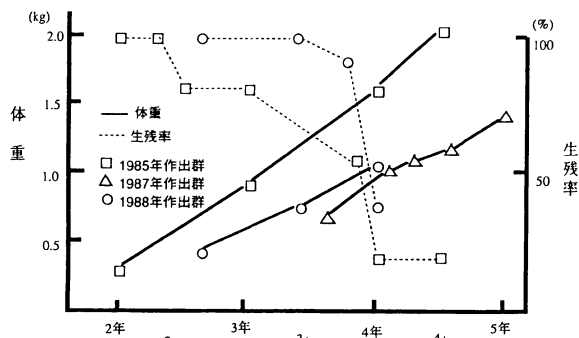


図1 雌型三倍体ヤマメ 2<sup>+</sup>年魚以降の成長と生残

### 結果と考察

測定結果を表1に、体重と生残率の推移を図1に示した。

供試魚は、3<sup>+</sup>年魚くらいから摂餌が次第に不活発になり、給餌にはかなりの時間を要するようになる。池底に落ちた餌を摂餌するため吻部が池底で擦れて、ほとんどの個体の吻部が扁平となった。さらに眼球に異常の見られる個体が多く、全身または半身の体色が黒化しする個体もみられた。行動が緩慢になるためチョウモドキが寄生しやすくなるなど、4<sup>+</sup>年魚以降では著しく外観を損ねるようになる。

体色はほとんどの個体でパーマークが薄れて、銀化の様相を呈するが、3<sup>+</sup>年魚以降は産卵期になると赤い横縞が現れて、婚姻色様の色相を呈する個体も見られた。雌型三倍体の寿命はほぼ5年で、体重2kg程度になるが、4年目の秋期にかけては減耗が大きくなるため、実用的には3年(2<sup>+</sup>年魚)から4年(3<sup>+</sup>年魚)の夏までに出荷することが望ましい。今回は雌雄混合三倍体の生残魚について調べたが、今後は実用化の期待される全雌三倍体についても検討していく必要がある。

### 文 献

- 1) 米沢純爾・長谷川敦子・斉藤修二・吉野典子・渡辺裕之 (2000) 雌雄混合三倍体ヤマメの養殖特性. 東京水試調査研報., (212): 39-45.

表 1 雌型三倍体ヤマメの2+年魚以降の体重と体長

年齢	月齢	1985年10月作出群				1987年10月作出群				1988年10月作出群			
		測定日	尾数	標準体長mm	体重(g)	測定日	尾数	標準体長mm	体重(g)	測定日	尾数	標準体長mm	体重(g)
2+	24	1987/10/22	28	299±48.98	490.4±208.75								
	25	1987/11/26	9	256.9±38.6	303.2±129.5								
	26	1987/12/24	9	266.7±41.05	328.3±146.8								
	27	1988/ 1/21	9	273.8±42.4	363.0±164.95								
	28												
	29	1988/ 3/19	9	283.8±44.50	425.5±183.86								
	30												
	31	1988/ 5/27	7	304.7±26.91	482.7±91.53								
	32												
	33												
34													
35													
36													
3+	37	1988/11/ 7	7	358.9±25.44	786.9±147.66								
	38	1988/12/23	7	366.3±28.08	881.4±218.74								
	39												
	40												
	41												
	42												
	43	1989/ 5/27	5	394.8±34.85	1318.2±369.97								
	44												
	45												
	46	1989/ 8/30	5	415.2±42.13	1401.0±457.39								
47													
48													
4+	49												
	50	1989/12/27	2	436.0±8.49	1692.6±107.9								
	51												
	52												
	53												
	54	1990/ 4/ 7	2	459.5±2.12	2081.5±3.54								
	55												
	56												
	57												
	58												
59													
60													
5+	61	1992/12/24	3	437.7±14.74	1400.0±145.26								
6+													